

新卒対象

獣医学生向け求人情報誌

Vol.14 | 2022年  
秋号

# Hippo-Works

特集① 業界情報

愛玩動物看護師  
国家資格について

特集②

動物病院インタビュー企画第2弾  
近江八幡動物医療センター  
森動物病院

全国の求人情報



# 近江八幡動物医療センター 森動物病院 特別インタビュー!

※このインタビューは2021年当時のものになります。



## Q. 動物病院設立の経緯を教えてくださいませんか?

親の代から獣医業が始まりました。私の父は戦時中に獣医畜産大学(現:日本獣医生命科学大学)に入学し、卒業してから終戦を迎えました。戦争には行っていませんでしたが、父の兄二人は戦死して三番目の父が家を継ぐことになりました。その頃は牛や豚などの大動物中心の診療でした。その後、時代とともに小動物の診療も増えてきました。実家は農家で米作・養豚業もおこなっており、繁殖や子豚の出荷、大動物の往診などに夜中でも出かけていました。

私は小さいときから父の姿を見ながら、豚の去勢や犬・猫の保定、手術の手伝いなどをするがありました。高校生となり、どのような進路にするか悩みました。当時は小動物が盛んではなかったことと、高度成長期だったために工業関係も考えましたが、父の姿をいつも見ていたので自分もこの道に進みたいと思いました。実家の動物病院は、長男が継ぐため次男の私は外に出て開業することになりました。大学卒業後の当時はまだ収入の見込みがわからず、まずは農業共済で牛の診療に勤め、滋賀県で有名な近江牛の診療にあたっていました。

その後、市内でも小動物を対象にした動物病院が新しく増えてきて、父の仕事も忙しくなってきたため手伝おうということになり、農業共済を辞めて大阪で2・3年開業見習いをしました。その見習いの後に、父は本院で、私は外で第二動物病院として、27歳で開業しました。大学の先輩や同輩、父の後押しもあったため今に至ります。

そして私が46歳のころに病院もかなり忙しくなり、院内も手狭になってきたので施設のリニューアルをおこないました。駐車場も広く、費用はかかりましたが自分で十分納得できる動物病院を建てることができました。今は息子が麻布大学を卒業し、副院長として就いているため設備や診療内容の質もあがり、スタッフも増えてきて充実して動物を診療することができています。

## Q. 森先生が院長として大切にされていることは何でしょうか?

父から私、そして息子へ受け継いでいく病院としては、今までの父の信頼・信用を落とさないように息子にうまく引き継ぐことです。また、診療内容・診療頭数を増やしてパトタッチをし、私も引き続き応援と協力をすることを大切にしていきたいというのが、今の一番の願いです。

一親子3代で長年、動物病院経営を続けてこれ、苦労されることも多かったかと思いますが、拡大しながらも地域に安心の獣医療を届けられているんですね。次のページより、森 健志先生にお話を伺います。



院長 森 弘志 先生  
獣医師



## Q. 森先生の学生時代から勤務医時代の過ごし方を教えてください。

学生時代は、臨床の研究室に所属しており、授業の合間は研究室の仕事に参加していました。研究室が終わるとそのあとは部活動をして充実しつつも忙しい学生生活を送っていました。大学病院の診察にも参加させていただいていたのである程度基本的なことは理解しているつもりでしたが、実際勤務医として働いてみるとかなり苦労しました。現場で実践できないことを痛感して、働き初めのころは、病院のやり方を学ぶことに加えて、院長の臨床に対する思いを感じ取るだけでいっぱいでした。ただ、その時に感じた「臨床に対する思い」が、今の仕事への情熱の根源になっているので振り返って考えると良かったと思っています。



森 健志 先生

獣医師  
JAHA（総合臨床医・外科認定医・  
内科認定医）  
AOVET骨折治療メンバー

骨折修復術LCPDライラボ 修了  
IVEAT腹部超音波研修 修了  
日本獣医師会 生涯研修 修了  
麻布大学 神経外科・神経内科 研修修了  
尿管結石SUBDライラボ 修了  
前十字靭帯TPLODライラボ 修了

## Q. 森先生が臨床獣医師として大切にしていることは何でしょうか？

地域に密着した形で動物と飼い主様にできるだけ丁寧に寄り添うことができるということに尽きると思います。「何かあったら助ける」という地域医療をするうえで、一番大切な覚悟や責任を強く持つことも心がけています。常に動物や飼い主様にとってプラスアルファで何かできないかということを考えてながら診療にあたっています。

## Q. 森先生が動物病院運営で心がけていることや、貴院の魅力と特長を教えてください。

しっかりとした獣医療を提供することです。あたり前のことですが動物をきちんと触る、飼い主様へはわかりやすく説明して、時間をかけて一件一件の診察を丁寧におこなうことを心がけています。当院の一番いいところは、私一人だけで決断をせず、違った目線で相談できるスタッフがいることです。一人でやったほうが早いこともたくさんあると思いますが、同じ目線の考えや違う目線の考えもあり、相談できることによって臨機応変に動けることに繋がっています。私も、一臨床獣医師なのでマネジメントが得意というわけではありませんが、動物病院としての土台はかなりしっかりしてきていると実感しています。

## Q. 先生が考える動物病院の理想形と現在の完成度を教えてくださいいただけますか？

どんな動物や飼い主様が来られた場合にも、スタッフが新人・ベテランに関わらず、常に一定以上の獣医療を提供、対応できるようにするのが理想とするところです。地域の一次診療のため、高度医療センターや二次診療センターと違い、飼い主様がよく遭遇する症状や起こりうる病気に向き合って、高いレベルで診療できる動物病院を目指しています。

現在の完成度としては、発展途中でまだまだと思うところがたくさんあります。動物や飼い主様に提供できる質やスタッフに対する質などあげられるところは多く、やりたいこと・やらなきゃいけないことがたくさんあります。逆に言えば今からでもさらに良くなることできると思います。

## Q. 学生や若手獣医師へ、身につけたほうが良いスキルやアドバイス等を教えてくださいいただけますか？

何をするにも常に興味を持ってほしいと思っています。今はネットから情報を得て知識をつけることはできますが、結局は自分が体験したことに対してしっかり調べて勉強したり、疑問に思ったことを質問したりすることが重要です。あとは経験してみてください自分の力にするのかを大切に考えられるといいですね。

身につけておきたいスキルは二つあって、一つ目は基礎体力・基礎能力を上げるということ。二つ目は、質問する力です。一つ目に関しては、採血や去勢・避妊の手術、飼い主様と話す、鑑別診断を上げるなど、一つ一つのことがきちんとできると、そこから先のことに対して幅が広がってくるので、まずはそこをしっかりとこなせるようになってほしいなと思っています。当たり前のことを当たり前にきっちり高いレベルでできるということがどの世界においても大切なことだと思うので、私も臨床において重要視していますね。

二つ目に関しては、自分が勉強していないと「質問していいのかな」と考えがちですが、恐れずに積極的に質問してほしいと思います。そのためには、自分でしっかり勉強して、勉強したうえでわからないから教えてもらおう、という風に先輩に質問していくことが大事ですね。僕もまだそこは不十分なところがあるのでどんどんそういうことをこなして行って、成長していきたいなと思っています。



## Q. 現在のスタッフさん達に伝えたいことはございますか？

どのスタッフにも“目の前の動物が苦しんでいたら助けてあげたい”という気持ちを一番強く持って置いてほしいです。あとスタッフには、私やほかのベテランのスタッフから教えてあげられるものはほとんど教えていきたいと思っています。失敗したことやうまくいったことなど、たくさんノウハウがあるので、私達を踏み台にして成長して行ってほしいなと強く願っています。

—森健志 先生、ありがとうございました。

ご家族でもある院長先生の想いを汲み取りながらも、自らたくさんの経験や知識を得ようとする姿勢や思いやりの強さを感じますね。続いて、動物看護師長として活躍されているお二人のインタビューをご紹介します。



※このインタビューは2021年当時のものになります。

### トリマー・動物看護師 リーダー 佐伯 悠

JKCTトリマーC級ライセンス  
愛玩動物飼養管理士1級  
ロイヤルカナン栄養管理アドバイザー  
動物スキンケア検定 修了



### 動物看護師 リーダー 宮本 菜摘

愛玩動物飼養管理士2級  
Pet First Aidsセミナー修了  
愛玩動物飼養管理士2級  
ロイヤルカナン栄養管理アドバイザー



## Q. 動物看護師を目指した経緯と学生時代の過ごし方を教えていただけますか？

昔飼っていた愛犬が病気になり、連れて行った動物病院で、動物看護師さんの仕事を間近で見て、私も動物たちのために働きたいと思い、動物看護師を目指しました。その勉強をする一方でトリマーさんの仕事にも興味をもち、学生の頃は飼っている愛犬のカットの仕方をちょんまげやモヒカンにして遊んだり、愛犬を学校に連れていき、皆で撮影会をしたりして楽しく過ごしていました。

私は動物が幼少期から大好きで言葉も話せない動物たちを助けたいと思い、どうすれば苦しむ動物たちを少しでも楽にできるかを考え動物看護師を目指しました。大阪の学校へ通っていたので、週1・2回学校終わりにUSJへ行ったり、家では集中して勉強することができないので片道1時間半かけて学校に行って勉強をしていました。

## Q. 働くようになってからの学習方法やスキルアップ等はいかがですか？

就職してからすぐは、とにかく何もかもが初めてのことばかりだったので、まずは入院動物から触れる、投薬するといったことで慣れるように努めました。しばらくして飼い主様に問診をするようになってからは動物だけでなく、飼い主様にも喜んで来院いただけるように相手の気持ちを考えながら話すように心がけました。

一年目は自分で獣医師についていけないと、必死に食らいついていました。自分の努力次第で次の仕事に繋げることができるので、スキルアップできる環境です。動物看護師長となったいまは、新人さんたちに的確な指示を出したり、どのスタッフがどのような仕事ができるかを把握したりしています。

## Q. 動物看護師長としての仕事と、今後どのような動物看護師になっていきたいかを教えてください

ほかのスタッフを手助けできるよう周囲に気を配ることを意識して働いています。診察などでもスムーズに仕事が回るようにそれぞれに指示を出しています。今後は、飼い主様には「この人に保定してもらえてよかった」「対応してもらえてよかった」、スタッフには「一緒に職場でよかった」と思ってもらえるような頼れる動物看護師になりたいです。

誰からも愛され、信頼される、知識と技術が豊富な動物看護師を目指すことが私の目標です。また、私たちに日々癒しを与えてくれるかけがえのない動物たちのため、今までのことを活かして成長していける動物看護師になりたいです。

## Q 近江八幡の魅力を教えてください♪

### 森 弘志先生

昔ながらの田園地帯と歴史ある街並み、特に近江商人、市内にある安土城の城跡、琵琶湖の風景、自然。近江牛の発祥の地であり、牛に対する情熱は最高のもので、中都市で人口も6万人くらいで昔ながらの人情味あるひとたちがたくさんおりますので、魅力ある近江八幡市があると思います。八幡堀は時代劇などの撮影によく使われています。



### 森 健志先生

はっきり言葉ではあらわせませんが、この地域は都会でもない、田舎でもないものがあると思っています。意識の高い人もいるし、1時間もしないうちに都市へ出ることもできる。何より、住みやすいし医療としても充実していける可能性は十分に秘めていると思っているので、今後の期待値は僕も含めてほかのスタッフもあると思っていますね。

### 佐伯さん

電車の新快速が止まるのでアクセスがいいところと、京都・大阪も気軽に行ける距離です。あと、都会だと小型犬がたくさんいますが、近江八幡は大型犬を飼ってらっしゃる方が多くいるので仕事で小型犬にも大型犬にも触れあえるのもいいところだと思っています。

### 宮本さん

近江八幡では、名物の近江牛のすき焼きや赤こんにやくが絶品です。



森動物病院の皆様、お忙しいなかインタビューにご協力いただき、ありがとうございました！  
このインタビュー動画本編は、次のQRコードから閲覧できます！

